

令和7年度 児童発達支援センター事業総括

■児童発達支援センター主催研修会

日時	会場	研修内容	講師	人数
5月13日(火) 15:30~17:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	発達障害のある子どもの 不登校等二次障害への対応	和歌山大学 教育学部准教授 北岡 大輔 氏	62名
6月2日(月) 15:30~17:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	子どもたちの適応と 成長を支えるポジティブ行動	畿央大学 現代教育学科教授・教育学研究科教授 大久保 賢一 氏	61名
7月4日(金) 15:30~17:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	保護者との協働のための相談支援の工夫 ～愛着とメンタライゼーションの視点から～	京都教育大学総合教育臨床センター 学びサポート室 講師 榊原 久直 氏	49名
9月8日(月) 10:00~11:30	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	強度行動障害について	大阪府立砂川厚生センター 自立支援第一課 副主査 松本瑠加 氏	36名
11月25日(火) 10:00~11:30	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	「家族の流儀」について(演題未定)	同志社女子大学 勝浦真仁 氏	38名
1月13日(火) 15:30~17:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	姿勢と環境設定について	児童発達支援センター 訓練士	41名
1月23日(金) 10:00~11:30	レイクアルスターカワサキ 生涯学習センター 1階 多目的室	「きょうだい児支援」について(演題未定)	大阪医科大学 金 泰子 氏	67名 ※支援者 39 ※保護者 28

■「トライアングルプロジェクト」研修会 連続講座(令和7年度実施開催回数3回)

日時	会場	内容	人数
9月16日(火) 15:30~17:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	『発達障がいと氷山モデル』 講師：アクトおおさか 副センター長 西ヶ峯 佐登子 氏 グループワーク(自己紹介、学んだ事・感じたことの共有)	33名
10月28日(火) 15:30~17:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	教育と福祉の連携 事例発表	32名
12月1日(月) 15:30~17:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	教育と福祉の連携 グループワーク	32名

■相談支援事業所連絡会（令和7年度開催回数3回）（事業所数：10）

日時	会場	内容	人数
7月14日（月） 10:00～11:30	泉佐野市立社会福祉センター 2階 小会議室	NPO 法人サポートグループ ほわほわの会 宮崎 充弘 氏による「面談スキル」研修会 ※通所支援事業所連絡会と合同	事業所 （8名）
7月31日（木） 10:00～11:30	泉佐野市立社会福祉センター 2階 小会議室	・合同説明会の打ち合わせ ・今後学んでいきたいこと	事業所 （10名）
12月2日（火） 9:30～12:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	・合同説明会の反省 ・保育所等訪問支援事業の情報交換について ・福祉サービスや社会資源の情報共有	事業所 （12名）

■通所支援事業所連絡会（令和7年度開催回数4回）（事業所数：22）

日時	会場	内容	人数
6月9日（月） 10:00～11:30	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	「交流(保護者、地域、事業所間)」をテーマに 各事業所の取り組みや、今後やりたいことを出し合う	21名
7月14日（月） 10:00～12:00	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	NPO 法人サポートグループ ほわほわの会 宮崎 充弘 氏による「面談スキル」研修会 ※相談支援事業所連絡会と合同	18名
10月6日（月） 10:00～11:30	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	防災について 講師：泉佐野市役所危機管理課 グループワーク(BCPの共有、現場の課題)	25名
2月2日（月） 10:00～11:30	泉佐野市立社会福祉センター 2階 大会議室	合同説明会振り返り グループワーク 事例検討：震度5強の地震発生時の初期対応 事業所見学会の内容共有	19名

■放課後等デイサービス・児童発達支援・保育所等訪問・障害児相談支援など 合同説明会

日時	会場	内容	人数
11月20日(木) 10:00～14:30	泉の森ホール 2階 レセプションホール	『泉佐野市の福祉サービスについて』泉佐野市役所子育て支援課 事業所1分間スピーチ 個別相談	相談事業所 9か所 通所支援事業所 19か所 参加者 58名

■総合相談

件数	相談元	相談内容	対応
42件 2月/時点	保護者・各々の所属の職員など	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や相談支援専門員探し ・医療や発達相談について ・生活面での相談 ・福祉サービスについてなど ・姿勢、身体的なことにかかわる相談 ・学校等でのトラブルや困り感、連携の取り方など 	訓練士、発達相談員、相談支援専門員、保育士、センター長 等 <ul style="list-style-type: none"> ・その場で回答できることは対応し終了するケースや、保護者の了解を得て、学校や園と連携し観察後に福祉サービスや個別訓練の利用につなげた。 ・相談を受けると相談窓口で検討して、内容に適した専門職につなぎ対応している。

■児童発達支援（木馬園）※定員 45名

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度予定
利用人数	36名 途中利用：5名	43名 途中利用：4名	48名	48名	46名	46名	45名
待機人数	0名	1名	0名	3名	2名	0名	3名

※令和6年度より、継続児で週3日親子登園対象の児については、基本は毎日登園分離としたことと、他の継続児の発達状況により、定員を超えての受け入れは厳しい状況となっている

■保育所等訪問支援事業

	利用人数	所属・学年（人数）
令和4年度	7名	こども園2歳児・小学校1年（1）、2年（3）、5年（1）
令和5年度	15名	こども園3歳児・小学校2年（5）、3年（4）、6年（3）、中学校1年（1）※R4年度より継続（7）
令和6年度	16名（内3名終了）	こども園3歳児・小学校1年（2）、2年（5）、3年（7）、4年（3）、中学校1年（2）
令和7年度	20名（内4名終了）	こども園4歳児（2）5歳児（1）・幼稚園5歳児（1）・小学校1年（1）2年（3）3年（1）4年（4）5年（1）・中学校2年（2）

■教育相談

※WISC-V知能検査（児童生徒の状況により新版k式もあり） 令和7年度よりⅣからⅤに移行している

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件数	1	13	86	108	85

■医療的ケア児訪問支援事業（センター単独事業）※令和6年2月1日より、医療的ケア児に加え重症心身障害児も対象に要綱を改正

医療的ケア児支援センター、母子センター、保健所、こども家庭課より相談があり、訪問につないでいる

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件数	2	2	2	2	2
訪問回数	16	22	15	34	21
終了・ 継続状況	R4.4月就学、木馬園利用のため2ケース終了	R5.4月木馬園利用のため1ケース終了	今後こども園希望あり、2ケース継続	R7.4よりこども園入園予定のため1ケース終了	R7.10よりこども家庭課より紹介

（令和8年1月現在）

■相談支援事業もくば（令和8年1月現在）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正職	38	46	50	40
会計年度フルタイム	50	46	46	39
会計年度パートタイム（週3）	27	29	34	33
合計	115	121	130	112